



光だけで円盤回転

青学大開発 発電に応用も

磁石を使って中空に浮かせた小さな円盤を、光を当てるだけで回転させる技術を開発したと、青山学院大の阿部二郎教授(光化学)らのチームが19日、発表した。回転体を発電機のように用いれば、安価な太陽光発電にも期待できるという。

円盤は直径1センチ、厚さ0.025ミリで、鉛筆の芯に使われる炭素材料のグラファイトで作った。グラファイトは磁石に反発する力が強く、磁石の上に置く

(左から右へ)円筒形の磁石の上に置いた円盤にレーザー光(光っている点)を当てると回転した(阿部二郎・青山学院大教授提供)



12月20日(木)